


 いわき市立総合磐城共立病院

# 地域医療連携室だより

## 信頼回復から希望へ

いわき市立総合磐城共立病院

院長 新谷 史明



まずもって、当院職員が収賄の罪により起訴され、連携医療機関の皆さまをはじめ多くの市民の皆様にご心配をおかけしておりますことに対して、深くお詫びいたします。

今後当院におきましては、患者様の日常診療に影響のないよう全力で取り組んでまいります。心臓血管外科領域の診療については、入江嘉仁医師を主任部長としてチームを再編成し、従来通りの十分な対応が可能であります。病院職員全員がバックアップし、また福島県立医科大学心臓血管外科横山斉教授からも全面協力するとのお申し出を受けています。なお、当該職員の処分については、起訴処分を受けて休職の手続きを取りました。今後は裁判の推移を見守りながら、厳正に判断、対処してまいりたいと考えております。

院内では、「慈心妙手」の病院理念を再確認し、公務に服するとみなされる身分についての教育、職員倫理の教育を徹底し、サービス規定を十分周知することにいたしました。皆様からの信頼を取り戻すには、地道に真摯な対応を心がけ、良質な医療を提供し続けるほか道はないと考えます。少しでも早く信頼を回復できるよう、職員一同努力してまいります。


**【いわき市立総合磐城共立病院 地域医療連携室】**

電話 0246 (26) 2250 (直通) FAX 0246 (26) 2119

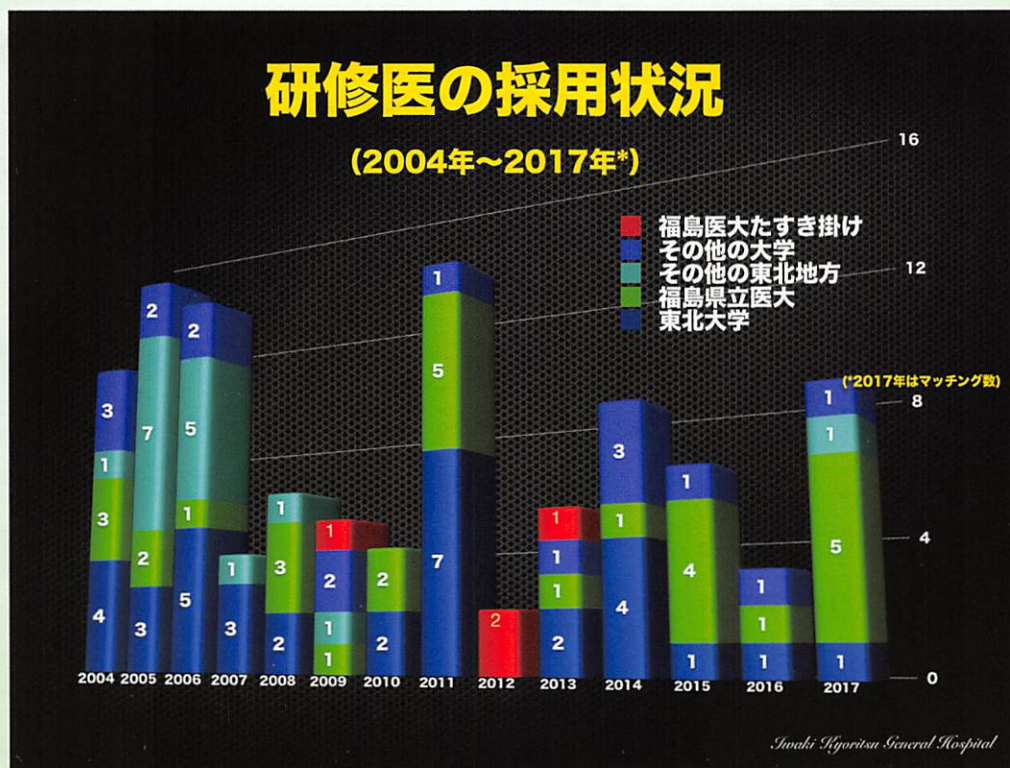
 URL <http://www.iwaki-kyoritsu.iwaki.fukushima.jp>

 E-mail [kyoritsu@iwaki-kyoritsu.iwaki.fukushima.jp](mailto:kyoritsu@iwaki-kyoritsu.iwaki.fukushima.jp)


10月20日、臨床研修マッチングプログラムの結果が発表され、当院の臨床研修プログラムには定員10名のところ、8名がマッチングしました。9月23日に中間発表があり、その直後に前述の事件が報道されたため、マッチング数が減ることが危惧されましたが、影響がなくホッとしているところです。臨床研修医の採用は2011年の東日本大震災直後は13名でしたが、それ以降0、4、8、6、3名と少数精鋭で推移してきました。今回のマッチングの結果を受けて来春は8名の新臨床研修医が赴任してくれることになりそうです。福島県、いわき市の修学資金貸与の影響もありますが、それ以上に地域や病院の魅力の発信、病院見学学生への真摯な対応、研修医の確実な教育の効果など多くの要因が相まってマッチ数が増えたものと思われます。

先日当院で開催された福島県臨床研修病院ネットワーク指導医セミナーでは、当院の実状、良さが医学部学生に十分には伝わっていないことが指摘されました。事務部門の対応が他施設に比べて非常に淡泊(?)である、との指摘もありました。また、インターネットで研修病院を決めた理由を検索してみると、「研修プログラムがしっかりしている」、「指導医に魅力を感じた」、「後期研修が可能である」、「症例が多い」、「研修医が多い」、「設備が整っている」などの意見が多く見受けられます。施設・設備の充実にはあと2年、新病院の完成まで待つていただくこととなりますが、研修プログラム、指導医の育成など、取り組むべき問題は多々あるかと思えます。これらの問題点を改善し、さらに病院ホームページ、Facebookなどを通じて、病院のトピックス、イベントの紹介、研修医の声などを伝えることにより、働き甲斐のある病院、魅力的な研修病院であることをアピールし、次年度はフルマッチ10名をめざし、それ以降は従来の定員14名まで増員できるよう、なお一層努力していきたいと思えます。

新臨床研修制度施行以後の当院の研修医の採用状況を図に示します。



## 大動脈弁狭窄症に対する取り組み

いわき市立総合磐城共立病院

循環器内科 科長 高木 祐介



### はじめに

「大動脈弁狭窄症」は、心臓と大動脈を隔てる「大動脈弁」が変性して硬くなり、開きが制限された結果、心臓に大きな負担を生じる「心臓弁膜症」のひとつです。原因の50%超が加齢による動脈硬化であり、先天的な弁の異常（二尖弁）やリウマチ熱がそれに続きます。高齢化社会に伴って、大動脈弁狭窄症は増加傾向にあり、近年の循環器領域の診療における大きな問題となっています。本稿では、大動脈弁狭窄症について概説すると共に、当院の取り組みを紹介します。

### 大動脈弁狭窄症の疫学と自然歴

75歳以上の人口で、大動脈弁狭窄症の頻度は2.5～5%とされます。また、腎不全などの基礎疾患を有する場合は、より高頻度です。本疾患を対象とした当院の心臓カテーテル検査の年次推移（図1）では、80代以上の高齢者を中心に、急速に件数が増加しています。主な症状は「胸痛」、「失神」、「心不全」であり、未治療では症状の出現から3年以内に約75%の患者が死亡します。

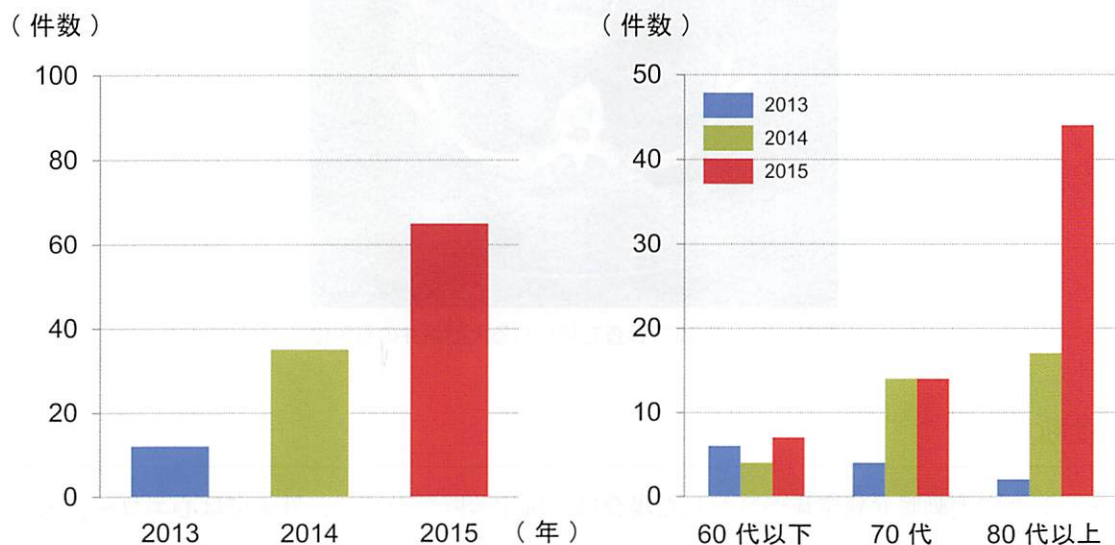


図1：当院における大動脈弁狭窄症の心臓カテーテル検査の年次推移

### 発見のためのスクリーニング

高齢者に息切れ、発作的な呼吸苦、胸痛などが見られた場合は、本疾患を疑う必要があります。最も簡易的なスクリーニングは聴診であり、第二肋間の胸骨右縁（大動脈弁領域）で、収縮期雑音を聴取します。また、心電図では左室肥大の所見を認めます。心エコーは確定診断に最も有用です。ただし、スクリーニングで詳細な計測は必ずしも求められず、大動脈弁の開放制限、肥厚、輝度の上昇など、見た目ですべて「硬くなって、開いていない」ことの観察で十分です（図2-1）。また、意外なことに、胸部CT検査の有用性は高く、大動脈弁の石灰化は本疾患を疑う重要な所見です。大動脈弁の石灰化の程度と、本疾患の重症度は、相関することが知られています（図2-2）。

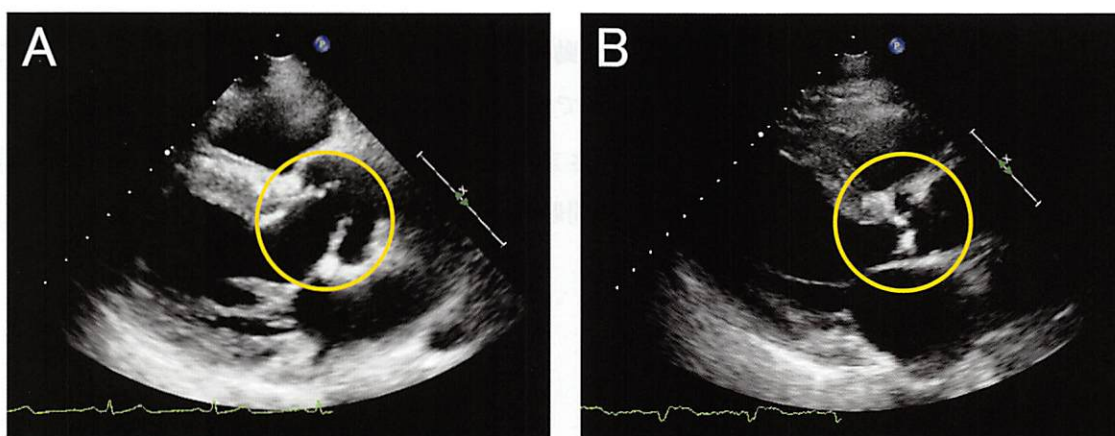


図2-1：(A) 正常な大動脈弁 (B) 変性して開かない大動脈弁

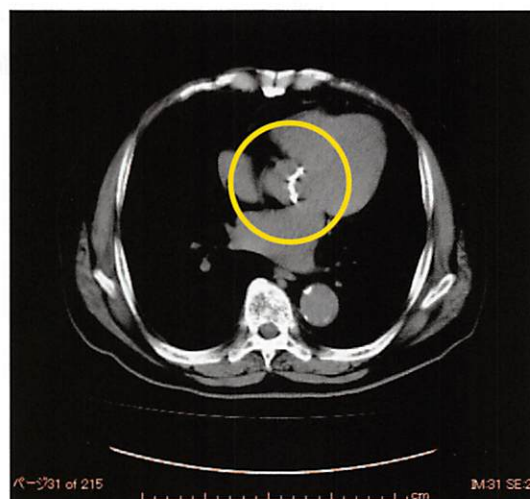


図2-2：胸部CT検査で見られる大動脈弁の石灰化

### 確定診断

スクリーニングで大動脈弁狭窄症が疑われた場合は、確定診断のために、外来では心エコー、入院では心臓カテーテル検査などが行われます。心臓カテーテル検査は、通常は二泊三日の短期入院であり、局所麻酔で検査時間は1時間程度です。

## 大動脈弁狭窄症の治療

内科的な薬物療法に、心保護効果を有するRAS阻害薬やベータ遮断薬、弁の変性の進行を抑制するスタチン、心不全治療としての利尿薬などが挙げられます。心不全などの急性期の病態に際しては、はじめに薬物療法が行われます。ただし、薬物療法の効果は限定的であり、根本的には変性した大動脈弁に対する、以下の直接的な治療介入が望まれます。

### 1) 大動脈弁置換術

人工心肺を使用して心臓を停止させ、変性した弁を切除して人工弁に置き換える、全身麻酔下に行われる開胸手術です（図3-1）。最も古典的な治療法ですが、長期成績に優れており、現時点で第一選択です。しかし、身体への負担が大きく、高齢や低体力など、手術リスクの高い患者には不向きという欠点があります。当院では心臓血管外科で行われます。

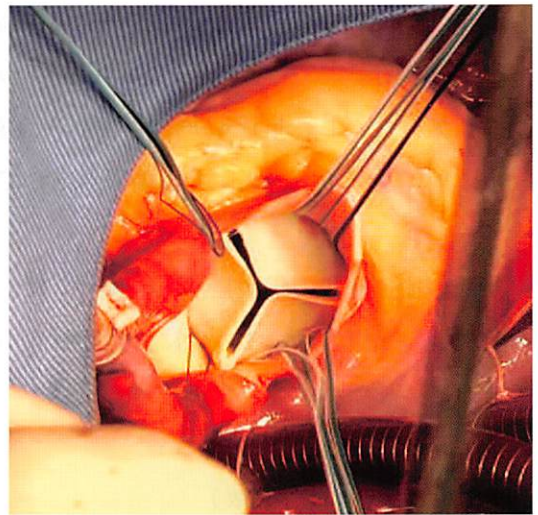


図3-1：人工弁に置換された大動脈弁

### 2) 経カテーテル大動脈弁留置術

鼠径部や肋間などの小切開から、低侵襲にカテーテルを利用して人工弁を挿入する方法です（図3-2）。前述の弁置換術の、負担が大きいという欠点を補うかたちで開発された新しい治療法であり、本邦では2013年10月に医療保険の適用となって以降、高齢の患者を中心に普及が進んでいます。ただし、本治療法も全身麻酔を要すること、対象となるには一定の条件があり、腎不全で血液透析を受けている患者に医療保険が適用されないこと、などの問題が残ります。当院では循環器内科と心臓血管外科を中心に構成された「ハートチーム」で行われます。

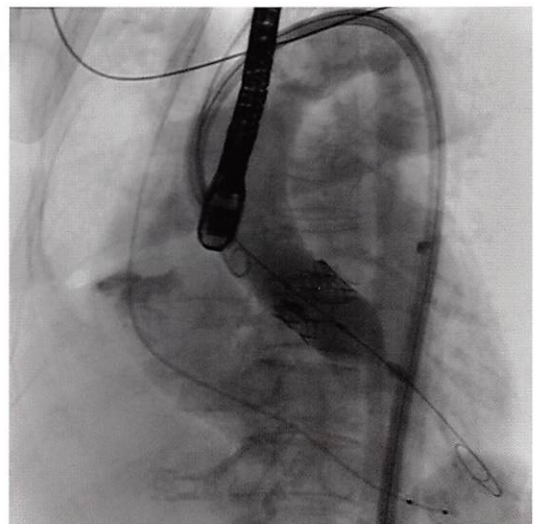


図3-2：カテーテルで人工弁（写真中央）を挿入する様子

### 3) 大動脈弁バルーン拡張術

鼠径部の血管から挿入したバルーン（風船）カテーテルを用いて、変性した弁を拡張し、狭窄を軽減する治療法です（図3-3）。局所麻酔で実施可能なことから、病状が安定せず、全身麻酔が困難と考えられる患者や、高齢の血

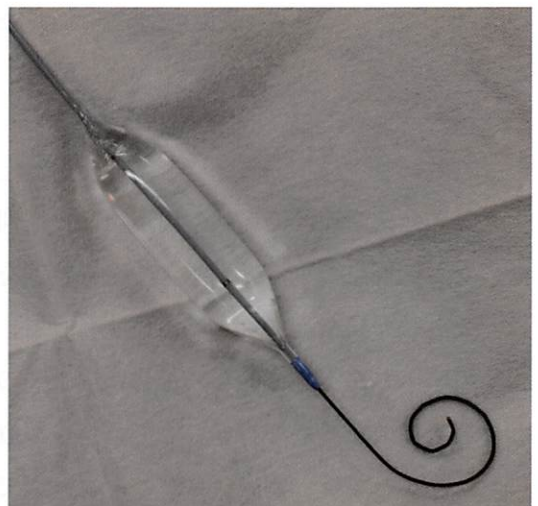


図3-3：バルーンカテーテル

液透析の患者、認知症やADLの低い社会的弱者など、従来は積極的な治療の対象とされなかった患者に適しています。血行動態（血圧、呼吸状態）が維持されない重篤な状態に陥った場合の、緊急治療としても行うことが可能です。心不全の軽減に高い効果があり、全身状態を改善させる「ブリッジ治療」として機能させることで、その後に全身麻酔での弁置換術や経カテーテル大動脈弁留置術が可能となる場合があります。ただし、自己の弁を温存する治療法であることから、約50%の患者では半年間で弁の硬さが治療以前に戻ります。当院では循環器内科で行われます。

当院の治療件数の年次推移（図4）では、それぞれの治療法が増加傾向にあり、大動脈弁狭窄症の臨床上の重要性が示唆されます。特に、大動脈弁バルーン拡張術は急激な増加が見られ、全国的にも実施件数が多くなっています。

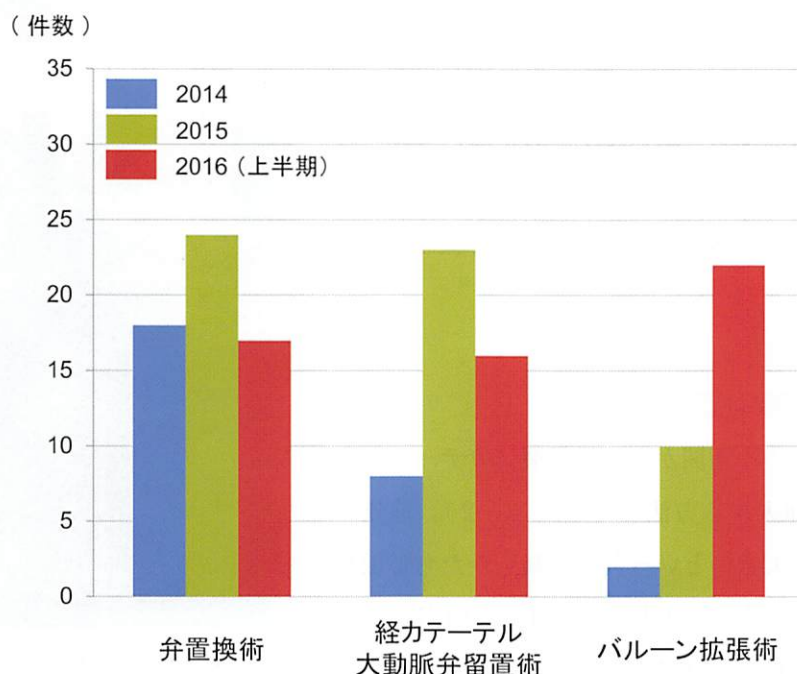


図4：当院における各治療の年次推移。2016年は上半期の集計

### おわりに

大動脈弁狭窄症は、症状の出現後は短時間で重大な健康被害を生じる、予後の悪い心疾患です。正確な診断のもと、疾患の重症度や患者の全身状態を踏まえて、個々に適した治療を選択することが必要です。当院は、大動脈弁狭窄症に対する治療法として、弁置換術、経カテーテル大動脈弁留置術、大動脈弁バルーン拡張術のすべてが実施可能な、福島県内唯一の医療機関です。薬物療法とこれら三つの治療法を適切に組み合わせ、包括的な診療を行うことで、地域医療の向上に貢献していきたいと考えています。他医療機関の皆様におかれましては、病歴、スクリーニングで本疾患を疑う場合、当院をはじめとした専門医への早期の紹介をご考慮下さい。また、本疾患でお困りの市民の方々は、当院にご相談頂ければ幸いです。

## 栄養給食室 提供 病院食 「ニンキナニュー」

当院栄養給食室では、毎月、季節や出来事にちなんだ献立を提供しています。  
今回は、その中から、特に評判の良かったメニューをご紹介します！

### 父の日はやっぱりビール

～管理栄養士のひ・と・こ・と～

父の日にちなみ、緑色が鮮やかな「枝豆ご飯」、ニンニク風味の「スタミナチキン」そして、「和え物」と「炒り煮」。

さらに！ビール！のような…「ビールゼリー」を提供！

このビールゼリーは、リンゴジュースを泡立ててゼリーにします。できるだけ根気のいる作業が続きますが、給食室一同、日頃の感謝の気持ちを込めてお作り致しました。

6月のじめじめを吹き飛ばすような、さわやかな一品になりました。



### 秋の香り栗ごはん

～管理栄養士のひ・と・こ・と～

秋の味覚の代表である「栗」主成分はご飯にも多く含まれる炭水化物です。

また、ビタミンC、B1、カルシウムなどを含み、消化に良い食品です。

甘露煮や栗きんとんなど、多くの食べ方で親しまれています。炊き込みご飯のときは、おかずの味付けを薄味にすることを心がけましょう。



## 受診時のお知らせ

### 1 当院の受診について

一般的な病気や長期にわたる経過観察が必要な患者さんには、まず、地域のかかりつけ医を受診していただき、さらに専門的な検査や治療が必要になった場合に、紹介状をお持ちいただき、当院を受診くださいますようお願いいたします。

なお、かかりつけ医より当院の地域医療連携室にて受診の予約を取りますと、待ち時間の大幅な短縮となります。



### 2 料金の変更について

平成 28 年 10 月 1 日より、下記のとおり加算料が発生いたします。

徴収要件・加算料名	科	改正前 (~H28.9.30)	改正後 (H28.10.1~)
初診時に紹介状なしで受診した場合 (非紹介患者初診加算料)	医科	1,620 円	➡ 5,400 円
	歯科	1,620 円	➡ 3,240 円
他医療機関へ文書による紹介を行ったにも係わらず当院を再受診した場合 (逆紹介患者再診加算料)	医科	設定なし	➡ 2,700 円
	歯科	設定なし	➡ 1,620 円

#### 徴収の対象にならない患者の例として

- 軽症者を除く救急患者さん
- 国の公費負担医療制度 (結核予防法・特定疾患等) で受診の患者さん
- 当院の外来診療後に入院となった患者さん
- 当院で診療継続中に他の診療科を受診した患者さん (ただし医科⇔歯科口腔外科の初診については除く) など

お問い合わせは、医事課医事係までお願いいたします。



# 新任医師紹介



## 形成外科

この度13年ぶりに再び共立病院で勤務できることを楽しみにしております。  
平成10年鳥取大学卒です。  
宜しくお願いいたします。

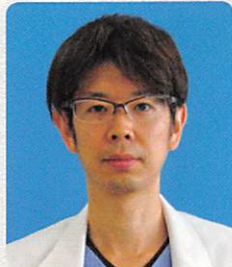
にしおりゅうたろう  
**西尾隆太郎** 医師



## 形成外科

10月より形成外科に赴任した赤澤です。7年ぶりに共立病院で勤務することになりました。よろしくお願いたします。

あかざわとしふみ  
**赤澤俊文** 医師



## 形成外科

9ヶ月ぶりに戻ってきました。また、よろしくお願い致します。

かさいたけひろ  
**笠井文博** 医師



## 脳神経外科

東北大学脳神経外科に所属し、勉強して参りました。地域医療に貢献できるよう努めて参ります。

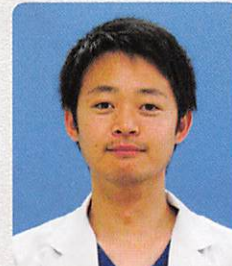
うちだひろき  
**内田浩喜** 医師



## 産婦人科

平成28年7月より産婦人科に赴任いたしました。いわき市出身です。いわき市の産婦人科医療に貢献できるよう、全力を尽くします。趣味は水泳です。よろしくお願いたします。

むらたつよし  
**村田強志** 医師



## 耳鼻咽喉科

10月から赴任しております。吉田と申します。出身は宮城県で、学生時代初期研修は、秋田県で過ごしました。いち早く病院に慣れ、皆様と協力しながら、より良い医療を行えればと思っています。よろしくお願いたします。

よしだたくや  
**吉田拓矢** 医師



## 心臓血管外科

8月から心臓血管外科に赴任しました、藤宮剛と申します。いわき地区の医療に貢献できるよう、努力して参ります。よろしくお願致します。

ふじみや つよし  
**藤宮 剛** 医師

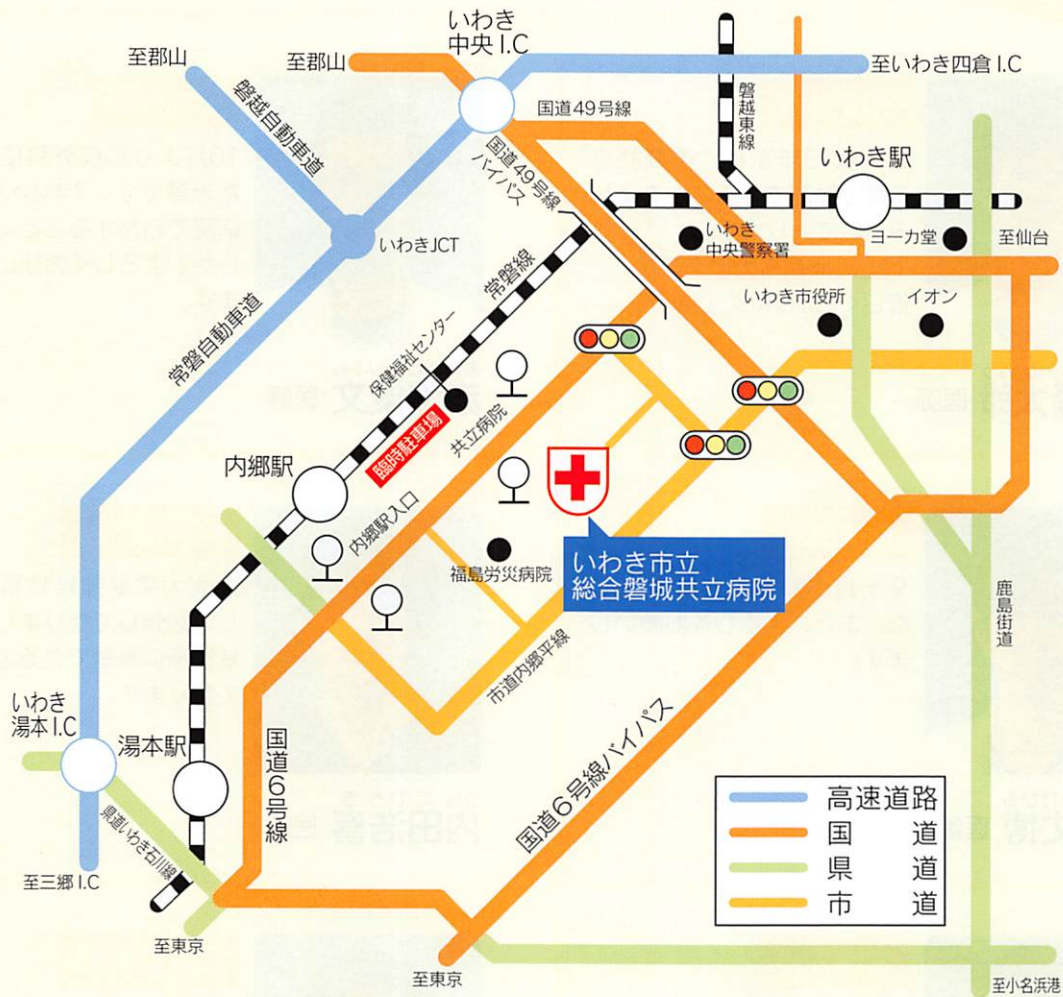


## 心臓血管外科

防衛医科大学病院心臓血管外科で勤務しており、縁に恵まれたいわき市立総合磐城共立病院で10月より5ヶ月間研修させて頂いています。短い期間ですが、地域医療に貢献できる様、精一杯頑張りますので、宜しくお願いいたします。

にしだこうすけ  
**西田浩介** 医師

いわき市立総合磐城共立病院へのアクセス



地域医療連携室への予約について

予約の際は、「地域医療連携診療予約申込書」及び「紹介状（診療情報提供書）」を当室までFAXにてお送りください。



また、予約に関してご不明な点がございましたら、下記まで電話でお問い合わせください。

予約受付時間 **8:30~17:00** [土・日曜日は受付していません]

いわき市立総合磐城共立病院 地域医療連携室

電話 0246 (26)2250(直通)  
FAX 0246 (26)2119

